



平成24年10月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年6月1日

上場取引所 東 札

上場会社名 株式会社 土屋ホールディングス
コード番号 1840 URL <http://www.tsuchiya.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 土屋 昌三

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長

(氏名) 前川 克彦

TEL 011-717-5556

四半期報告書提出予定日 平成24年6月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年10月期第2四半期の連結業績(平成23年11月1日～平成24年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年10月期第2四半期	9,714	24.8	△678	—	△656	—	△672	—
23年10月期第2四半期	7,785	△1.7	△1,011	—	△982	—	△1,046	—

(注) 包括利益 24年10月期第2四半期 △667百万円 (—%) 23年10月期第2四半期 △1,012百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年10月期第2四半期	△26.37	—
23年10月期第2四半期	△41.03	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年10月期第2四半期	18,090	11,237	62.1	440.37
23年10月期	18,843	11,930	63.3	467.52

(参考) 自己資本 24年10月期第2四半期 11,237百万円 23年10月期 11,930百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年10月期	—	0.00	—	1.00	1.00
24年10月期	—	0.00	—	—	—
24年10月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年10月期の連結業績予想(平成23年11月1日～平成24年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,043	5.4	317	202.6	311	104.0	210	525.1	8.24

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年10月期2Q	25,775,118 株	23年10月期	25,775,118 株
② 期末自己株式数	24年10月期2Q	255,973 株	23年10月期	255,959 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年10月期2Q	25,519,153 株	23年10月期2Q	25,519,212 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見直し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
4. 補足情報	9
(1) 生産、受注及び販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東北地方を中心とする復興需要により緩やかに回復しつつあるものの、急激な円高や欧州財政危機の影響による海外景気の下振れ、原子力発電所の停止による電力供給の制約などにより、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが属する建設・住宅・不動産業界におきましては、住宅エコポイントの再開や住宅ローン「フラット35エコ」など住宅取得への政府による支援が続いております。

一方、東北地方においては、仙台など被災地では復興需要により、建築ラッシュが続いており、受注・売上高増加の牽引役となりました。北海道内においては、大型ショッピングモールなどにおいてグループ共同イベント（在来工法、ツーバイフォー工法、増改築及び建物・土地の仲介）を開催し、積極的な集客による販売強化を行ないました。

当第2四半期連結累計期間における経営成績につきましては、売上高は97億14百万円（前年同四半期比24.8%増）となりました。利益につきましては、前年同四半期に比較して大幅に改善し、営業損失は6億78百万円、経常損失は6億56百万円、四半期純損失は6億72百万円となりました。

なお、当社グループの売上高は、通常の営業の形態として、冬期間の影響により第1四半期及び第2四半期に比べ第3四半期及び第4四半期に完成する工事の割合が大きいため、業績に著しい季節的変動があります。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①住宅事業

住宅事業につきましては、過年度からの受注残の増加や高齢者専用賃貸住宅の売上、東北地方での震災復興により、当事業の売上高は69億30百万円（前年同四半期比28.5%増）となり、営業損失は7億67百万円と前年同四半期と比較して大幅な圧縮となりました。

②増改築事業

増改築事業につきましては、長期優良住宅先導事業採択による受注増や、住宅事業と同様に東北地方における受注の増加などで、期中に入ってから受注・売上高ともに堅調に推移しております。当事業の売上高は18億70百万円（前年同四半期比32.6%増）となり、営業損失は23百万円と前年同四半期と比較して圧縮となりました。

③不動産事業

不動産事業につきましては、不動産仲介事業や住宅事業とのコラボ商品である好立地コンパクト提案住宅の販売、中古住宅のリニューアル販売事業により、当事業の売上高は6億24百万円（前年同四半期比12.0%減）、営業損失は20百万円となりました。

④賃貸事業

賃貸事業につきましては、高齢者向け賃貸マンションの同業者との共同見学会などの積極的な入居者募集を行ない、安定的な収益の確保につとめました。当事業の売上高は2億89百万円（前年同四半期比6.0%増）、営業利益は1億48百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、現金預金の減少等により前連結会計年度と比較して7億52百万円減少し、180億90百万円となりました。

負債は、未成工事受入金の増加及び工事未払金等の減少等により前連結会計年度末と比較して59百万円減少し、68億52百万円となりました。

純資産は、季節的要因による利益剰余金の減少等により前連結会計年度末と比較して6億92百万円減少し、112億37百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年10月期の連結業績予想につきましては、平成23年12月9日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 簡便な会計処理

①一般債権の貸倒実績高の算定方法

一般債権の貸倒実績高の算定については、前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度決算において算定した貸倒実績率を使用しております。

②棚卸資産の評価方法

たな卸資産の簿価切下げについては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

③固定資産の減価償却費の算定方法

減価償却の方法として定率法を採用している固定資産の減価償却費については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

原価差異の繰延処理

季節的に変動する操業度により発生した原価差異は、原価計算期間末までにほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産（その他）として繰り延べております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	4,317,828	3,358,542
完成工事未収入金等	484,462	292,944
未成工事支出金	425,005	669,135
販売用不動産	2,337,955	2,245,278
原材料及び貯蔵品	124,913	196,126
繰延税金資産	60,323	53,844
その他	323,500	611,238
貸倒引当金	△4,355	△2,764
流動資産合計	8,069,633	7,424,346
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,951,267	2,855,245
機械装置及び運搬具（純額）	45,584	37,483
土地	5,883,305	5,883,305
建設仮勘定	15	7,097
その他（純額）	78,447	72,696
有形固定資産合計	8,958,618	8,855,828
無形固定資産		
のれん	9,315	6,654
その他	219,396	195,255
無形固定資産合計	228,712	201,909
投資その他の資産		
投資有価証券	865,553	871,015
長期貸付金	145,601	143,471
繰延税金資産	35,966	61,665
その他	673,986	669,843
貸倒引当金	△134,673	△137,221
投資その他の資産合計	1,586,435	1,608,773
固定資産合計	10,773,766	10,666,511
資産合計	18,843,399	18,090,858

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年4月30日)
負債の部		
流動負債		
工事未払金等	2,556,645	1,628,117
未払法人税等	128,425	38,828
繰延税金負債	1,999	533
未成工事受入金	1,364,182	1,936,606
完成工事補償引当金	131,839	111,207
その他	1,034,845	1,445,007
流動負債合計	5,217,937	5,160,301
固定負債		
退職給付引当金	672,816	682,535
役員退職慰労引当金	214,336	249,074
その他	807,709	760,961
固定負債合計	1,694,862	1,692,571
負債合計	6,912,799	6,852,872
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,114,815	7,114,815
資本剰余金	4,427,452	4,427,452
利益剰余金	598,333	△100,136
自己株式	△56,762	△56,763
株主資本合計	12,083,838	11,385,366
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△153,238	△147,380
その他の包括利益累計額合計	△153,238	△147,380
純資産合計	11,930,600	11,237,985
負債純資産合計	18,843,399	18,090,858

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年11月1日 至平成23年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年11月1日 至平成24年4月30日)
売上高	7,785,620	9,714,955
売上原価	5,578,122	7,064,466
売上総利益	2,207,498	2,650,489
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	4,188	1,006
従業員給料手当	1,313,213	1,326,976
退職給付引当金繰入額	25,854	21,669
役員退職慰労引当金繰入額	18,945	37,508
賃借料	327,951	336,972
その他	1,528,709	1,604,741
販売費及び一般管理費合計	3,218,862	3,328,875
営業損失(△)	△1,011,363	△678,386
営業外収益		
受取利息	2,394	2,109
受取配当金	4,650	4,533
その他	35,649	25,584
営業外収益合計	42,694	32,227
営業外費用		
支払利息	10,358	5,596
貸倒引当金繰入額	1,919	2,969
減価償却費	179	159
その他	1,630	2,027
営業外費用合計	14,087	10,752
経常損失(△)	△982,756	△656,911
特別利益		
固定資産売却益	46	—
貸倒引当金戻入額	472	—
退職給付引当金戻入額	28,694	—
特別利益合計	29,214	—
特別損失		
固定資産除却損	939	726
固定資産売却損	383	—
投資有価証券売却損	360	—
投資有価証券評価損	164	—
減損損失	3,290	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	2,000	—
保険解約損	—	1,716
その他	164	—
特別損失合計	7,302	2,443
税金等調整前四半期純損失(△)	△960,845	△659,355
法人税、住民税及び事業税	46,585	34,282
法人税等調整額	39,547	△20,686
法人税等合計	86,133	13,596
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,046,978	△672,951
四半期純損失(△)	△1,046,978	△672,951

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年11月1日 至平成23年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年11月1日 至平成24年4月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	△1,046,978	△672,951
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	34,782	5,857
その他の包括利益合計	34,782	5,857
四半期包括利益	△1,012,196	△667,093
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,012,196	△667,093

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

[セグメント情報]

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年11月1日至平成23年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	住宅事業	増改築事業	不動産事業	賃貸事業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	5,391,848	1,410,762	709,877	273,132	7,785,620	—	7,785,620
セグメント間の内部 売上高又は振替高	42,703	—	—	59,712	102,416	△102,416	—
計	5,434,552	1,410,762	709,877	332,845	7,888,037	△102,416	7,785,620
セグメント利益又はセ グメント損失(△)	△1,084,779	△70,752	42,977	131,205	△981,348	△30,015	△1,011,363

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△30,015千円には、セグメント間取引消去531千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△30,546千円が含まれております。全社費用の主なものはグループの管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

金額的重要性が乏しいため、記載を省略しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年11月1日至平成24年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	住宅事業	増改築事業	不動産事業	賃貸事業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	6,930,090	1,870,969	624,467	289,428	9,714,955	—	9,714,955
セグメント間の内部 売上高又は振替高	122,872	12,570	4,033	64,163	203,639	△203,639	—
計	7,052,962	1,883,539	628,500	353,591	9,918,594	△203,639	9,714,955
セグメント利益又はセ グメント損失(△)	△767,825	△23,933	△20,176	148,248	△663,687	△14,698	△678,386

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△14,698千円には、セグメント間取引消去1,133千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△15,832千円が含まれております。全社費用の主なものはグループの管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

金額的重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

①販売実績

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年11月1日 至 平成23年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年11月1日 至 平成24年4月30日)	前連結会計年度 (自 平成22年11月1日 至 平成23年10月31日)
住宅事業 (千円)	5,391,848	6,930,090	17,272,846
増改築事業 (千円)	1,410,762	1,870,969	3,585,050
不動産事業 (千円)	709,877	624,467	1,360,859
賃貸事業 (千円)	273,132	289,428	599,206
合計 (千円)	7,785,620	9,714,955	22,817,963

②受注状況

区分	前第2四半期連結累計期間		当第2四半期連結累計期間		前連結会計年度	
	受注高 (千円)	受注残高 (千円)	受注高 (千円)	受注残高 (千円)	受注高 (千円)	受注残高 (千円)
住宅事業	7,961,367	5,556,077	9,700,747	6,814,328	18,329,959	4,043,671
増改築事業	1,590,646	1,030,782	2,237,416	1,347,897	3,715,602	981,450